

次の文章を読んで、後ろの問いに答えなさい。

コミュニケーションは、この世の中を生きていくための重要な手段であると同時に、生きる目的そのものでもある。仕事の間では、コミュニケーション力は重要な手段である。対話力が低ければ、生産効率が悪くなる。ミスも多くなり、職場の雰囲気も悪くなる。会社は利益を上げることが目的とした集団だ。その利益を上げるためにコミュニケーション力が必要となる。

家族の場合は、これとは事情が異なる。家族は利潤を求めているわけではない。関わり合うことそのものが目的といえる集団だ。一緒に食事をし、話をし、どこかへ一緒に遊びに行く。ボートと一緒に部屋で寝転がって時を過ごすこともまた、家族のよさだ。何かを生みだすことが目的ではない。そこでは一人ひとりが優秀であるかどうかは本来重要なことではない。赤ちゃんに対して優秀かどうかを問う親はいない。赤ちゃんは手間のかかる存在だが、その世話をすることが皆の生き甲斐にもなる。家族においては、生産性よりも、感情が交流することの方が重要なのである。

私たち人間は、コミュニケーションしたいという欲求を強く持っている。一人きりになるのは寂しいし、怖い。部屋で一人静かに過ごす時間は快適なものだが、社会から全く切り離され、他人とコミュニケーションができなくなったとすれば、そのような快適さはもはやなくなるであろう。刑罰の一つに独房というものがある。一人で部屋に入れられ誰ともコミュニケーションできない状態は、人間にとって刑罰なのである。

コミュニケーションし、感情を交わし合い、考えを語り合う。それ自体が人生の目的なのである。深い永遠の愛ばかりが人間にとって必要なものではない。気持ちを軽く伝えることができる存在が、まずほしい。何かを見て、いいなという感情が湧いたり、何かを食べて、おいしいなと思ったりしたときに、その感情を分かち合う相手が欲しくなる。その相手は、時に人間でなくとも構わない。犬は、人間のコミュニケーション欲を充たしてくれる重要なパートナーであり続けてきた。私たちは気持ちを誰かと伝え合い、あれこれと話をしなければいけない存在なのだ。

( 齋藤孝 『コミュニケーション力』 岩波新書より )

問一、この文章の内容を、一〇〇〇字程度で要約しなさい。

問二、傍線部について、あなたはどうか考えますか。例を挙げて、あなたの意見を四〇〇字程度で書きなさい。